

令和4年度ひょうご安全の推進事業助成金交付決定一覧表【全県・地域事業】

	県民局	事業区分	事業名	実施団体名	実施日	実施場所	主な実施内容	参加人数 (実績)
1	神戸	全県	「阪神大震災を記録しつづける会」の25年間の活動とその考察をまとめた書籍出版を通じた防災・減災の教訓発信	阪神大震災を記録しつづける会	①4月1日 ～3月5日 ②3月5日	zoom(感染状況によっては兵庫県民会館、書店)	記録誌の出版及びブックイベントの開催 ① 団体の25年の活動をまとめた記録誌の出版 ② 発刊に伴うブックイベントの開催(zoom等で開催)	1,022
2	神戸	全県	迫りくる南海トラフ巨大地震と大津波～学校と地域での防災教育～	防災教育学会	6月19日	神戸学院大学ポートアイランドキャンパス	シンポジウム テーマ:「南海トラフ巨大地震に向けた学校と地域での防災活動」 パネリスト ※調整中(高知県及び徳島県の学校現場でご活躍の先生方) コメンテーター 諏訪清二 先生(兵庫県立大学大学院特任教授・防災教育学会会長) コーディネーター 中野元太 先生(京都大学防災研究所 助教) ろうそくによる追悼行事とハル展示	323
3	阪神北	全県	第28回兵庫県南部地震(阪神・淡路大震災)犠牲者追悼のつどい あなたの思いを灯してください～失った命の数をロウソクの灯火に込めて	ボランティア団体 ユー・アイ・アソシエーション	1月16日 ～ 1月17日	伊丹市昆陽池公園南広場	ろうそくによる追悼行事とハル展示 ・ろうそくによる追悼行事 震災翌年より毎年実施している追悼行事。 追悼とともにいかにして生きるかという開催テーマをもうけ、命の尊さ、減災への啓発、継承のテーマに沿ったメッセージをロウソクで絵にする。 ・ハル展示 ボランティア活動等の展示	1,800
4	神戸	全県	第十八回競基弘賞授賞式及び記念講演会 災害レスキューロボットのデモ公開	特定非営利活動法人国際レスキューシステム研究機構	※予定 1月13日 ～ 1月17日	①ふたば学舎(神戸市立地域人材支援センター) ②三宮センター街1丁目	レスキューロボット表彰式と記念講演会及びレスキューロボットの実演デモ(市民参加) ・「競基弘賞※」の授与式及び記念講演会 ※阪神・淡路大震災で亡くなった若き研究者(当時神戸大大学院生)にちなんで設立された賞 ・受賞者による最新研究開発の内容・活動報告等、実災害の現場でどのように役に立つのかを交えた講演 ・授賞式では研究員自らが、震災時の様子を語り継ぐなど、震災の記憶の継承する	50
5	神戸	全県	117KOBEBぼうさいマスタープロジェクト	117KOBEBぼうさいマスター育成会議	4月1日 ～ 3月31日	神戸新聞社本社会議室他	若い世代への防災・減災活動普及プロジェクト ・ぼうさい出前授業・ワークショップの実施 ・ぼうさいWEB検定の実施 ・117KOBEBぼうさいマスター育成のための市民救命士講習の実施 ・NPO、企業等との連携・協業による「ぼうさいワークショップ」の実施 ・避難所体験の実施 ・有識者、語り部による震災学習 ・ぼうさい国体への参加協力 ・被災地へのボランティア活動の実施	1,000
6	神戸	全県	神戸フロイデ合唱団 創立70周年2022 サマーコンサート 阪神・淡路大震災、 東日本大震災 追悼 演奏会	神戸フロイデ合唱団	7月21日	神戸国際会館ホール	神戸フロイデ合唱団2022サマーコンサート (阪神・淡路大震災、東日本大震災 追悼演奏会) 特別ご招待として東日本大震災で兵庫県内に避難されている方50名を演奏会に招待 ・「令和3年度ひょうご安全の日宣言」を来場された方に向け配布	1,200

令和4年度ひょうご安全の推進事業助成金交付決定一覧表【全県・地域事業】

	県民局	事業区分	事業名	実施団体名	実施日	実施場所	主な実施内容	参加人数 (実績)
7	神戸	全県	第13回全国学生防災書道展	全国学生防災書道展実行委員会	2月17日 ～ 2月19日	兵庫県立美術館 原田の森ギャラリー	全国防災書道展の開催 ・防災救命や復興支援、自然災害に関わる文言や表現を題材にした書を各県教育委員会を通じて、全国から公募 ・優秀な防災書道作品約650点を選考し、展示 ・文部科学大臣賞、復興大臣賞、県知事賞など賞を設け、表彰式を行う	3,000
8	神戸	全県	難病患者と災害時の備え「災害に備える新しい防災様式～誰もが助けられるために～」	一般社団法人兵庫県難病団体連絡協議会	6月12日	あすてっぴ KOBEセミナー1, 2	防災と難病患者に関する講演とディスカッション ・講演 ①「COVID-19 災害から見た避難・避難所の変革」 福井大学医学部看護学科 教授 酒井 明子氏 ②「神戸市における感染症に配慮した災害対応」 神戸市危機管理室 室長 福井 豊氏 ③「透析患者の避難所での感染症対策」 県透析医会災害対策委員長 赤塚 東司雄氏 ・ディスカッション 「災害に備える新しい防災様式」 コーディネーター 神戸大学工学研究科 大西 一嘉氏 パネラー 酒井 明子氏、福井 豊氏、赤塚 東司雄氏	78
9	東播磨	地域	B-スポーツ～第一回明石の変わった運動会～	一般社団法人明石青年会議所	8月11日	石ヶ谷公園 明石中央体育館	・ 防災スポーツ 防災訓練を 日頃から遊び感覚で出来る 新しい スポーツ・ゲームを企画し、体験ブースを提案する。 ・ 食料備蓄の提案 体験ブース参加者に、毎年行われている「災害食グランプリ」にノミネートされている災害食を味わってもらうことで、現在、有事の際の食料を準備していない方も興味を持ち、災害時の食料確保の重要性を提案する。 ・ 防災ポイント スポーツブースを楽しんでいた子にポイントを配布し、ポイントと防災グッズを交換することができる。ポイントはスポーツの記録が良ければ良いほど多くもらえる。また、同時に縁日を開き、防災ポイントを	800

令和4年度ひょうご安全の推進事業助成金交付決定一覧表【全県・地域事業】

	県民局	事業区分	事業名	実施団体名	実施日	実施場所	主な実施内容	参加人数 (実績)
10	中播磨	地域	ラジオで学ぶ防災・減災『あなたの防災』	GENKI防災研究所	8月29日 ～ 10月14日	株式会社姫路シティFM21 (FM GENKI)	<p>近年頻発している中・大規模地震や今後高い確率で発生が予想される巨大地震、また激甚化・頻発化する豪雨災害について、防災・減災・予防の観点から、知見や情報を共有する市民目線のラジオ番組(30分×7回)を制作し、姫路を中心とする中播磨地域に発信する。</p> <p>番組:30分×7回(+再放送各2回ずつ) 出演:GENKI防災研究所(一般有志) 津雲あおい(防災士、ひょうご防災リーダー) 杉山ひろこ(防災士、ひょうご防災リーダー) 制作:FM GENKI 放送:FM GENKI(79.3MHz)</p>	63,000
11	東播磨	全県	災害とスポーツー被災地の復旧・復興を物心ともに支えるスポーツカー	身体運動文化学会 大会実行委員会	7月17日	神戸学院大学ポートアイランド第1キャンパス	<p>阪神・淡路大震災をはじめ、東日本大震災、熊本地震など国内で起きてきた災害はもちろんのこと、昨年のトンガ噴火など海外での災害においても、その復旧・復興におけるスポーツの果たす役割は非常に大きい。その活動内容は、スポーツ選手やスポーツ団体による炊き出しなどの被災地支援活動、チャリティ活動、被災地の子どもを対象としたスポーツ教室の開催、募金活動など多義にわたる。これらは、被災地の復旧・復興の金銭的、物的な支援になるとともに、被災者の生活支援や心理的サポートになっている。</p> <p>しかし、わが国のこのような災害時のスポーツ支援活動は、まだまだ活発とは言えないし、日常からの組織的な準備も整っていないのが現状である。</p> <p>そこで、本シンポジウムでは、国内外の災害時におけるスポーツが果たす役割について、実際に支援活動をされているスポーツ関係者および防災関係の研究者を招き、その現状や意義、課題について討論し、これからの災害時におけるスポーツボランティアや支援活動のあり方について、市民や学生を交えて考えていきたい。</p>	334
12	神戸	全県	震災28年・経験と教訓の継承メンバー神戸プロジェクト	リメンバー神戸プロジェクト	10月15日 ～ 11月14日 1月20日 ～ 1月22日	①WALL GALLERY ②神戸音楽センター会館	<p>①震災継承「震災の消えた傷跡と神戸の壁遺構達の写真展」 ・WALL GALLERY 2022.10.15～2022.11.14・2022.10.15オープニングの集い 展示:神戸のか壁と震災直後の被災地と現代の光景、想いのパネル36枚展示 オープニングの集いで神戸市役所センター合唱団が中心に神戸の壁歌を合唱</p> <p>②震災継承「震災の記憶・神戸の壁歌展」 ・阪神・淡路大震災28年メモリアル大うたう会共催 神戸音楽センター会館2023.1.20～.22 展示:神戸の壁歌15曲、震災継承活動記録パネル33枚 1.22メモリアル大うたう会で神戸市役所センター合唱団が中心に神戸の壁歌3曲合唱</p>	2,400

令和4年度ひょうご安全の推進事業助成金交付決定一覧表【全県・地域事業】

	県民局	事業区分	事業名	実施団体名	実施日	実施場所	主な実施内容	参加人数 (実績)
13	神戸	全県	KSC男声合唱団第8回演奏会	KSC男声合唱団	10月22日	神戸文化ホール 大ホール	<p>阪神・淡路大震災からの復興27年、「歌う喜び、伝える喜び」(副題)第8回定期演奏会を開催する。 2022年は震災27年にあたる。ひょうご「安全の日」推進事業の1事業として震災の教訓、防災意識の啓蒙・伝達を行う。</p> <p>①「1.17ひょうご安全の日の宣言」文をプログラムに同封し来場者への啓蒙活動を行う。 ② コンサート会場入り口に当団が所属するボランティア組織の災害復旧・復興支援写真集の展示を行い活動の一部を紹介する。 ③ 会場で復興27年の紹介を兼ねて2022年の”1.17ひょうご安全の日宣言“を読み上げる。 ④ コンサートの最初に阪神淡路大震災被災者の鎮魂と災禍からの復興を強く願って作詞・作曲された曲「しあわせ運べるように」を団員がステージで歌いお客様は心の中で歌って頂き2000人と気持ちを一つにする。人生の励まし、使命感、生きる力を歌った曲で感動をお客様に伝えてパンデミックと災害に備える一助としたい。</p>	1,400
14	神戸	全県	おやこでBOUSAI<防災>inNADA2023～子どもの命を守るために～	なだっこプロジェクト実行委員会	8月11日 2月1日～ 2月23日	神戸市立灘区民ホール	<p>① BOUSAIキッズ講座 参加費500円 日時:8月11日(祝・木)13:30～16:00 会場:神戸市立灘区民ホール 内容:小学生が対象。過去の震災に学び、いざというときに自分たちで考え、身を守る事ができるような楽しく学べる防災講座の実施。 2月のイベントでも学びを生かしてBOUSAIキッズコーナーを担当してもらう。</p> <p>② おやこでBOUSAI<防災>inNADAの開催 (無料) 子どもから大人まで楽しく防災を学べるイベント 日時:2月1日(水)～23日(祝・木) 会場:神戸市立灘区民ホール 5Fホール ・クイズラリー [事前]2月1日(水)～22日(水) [当日]2月23日(祝・木) ・BOUSAI人形劇「カンカン棟のみはりばん」 ・防災絵本「5さいのぼうさい」絵本読み聞かせ・ぼうさいぬりえ ・BOUSAIかみしばい ・持ち出し品クイズ ・避難所体験コーナー ・BOUSAIキッズコーナー(きけんはっけんゲーム、マイ避難カードなど) ・都賀川の水害を伝えるコーナー</p>	300
15	神戸	全県	ひょうご安全の日推進事業 まちキャラパークin KOBE2022	まちキャラパーク実行委員会	10月1日	メリケンパーク芝生広場	<p>阪神淡路大震災から26年が経ち30歳以下の方はほぼ当時の記憶がありません「1.17は忘れない。」、そして今を生きる子供達に伝えていき、防災・減災への意識を高め30年以内に起こるとされる南海トラフ地震への備えを啓発する。そんな思いで毎年継続して開催しています。</p> <p>① はばタンと学ぶ「防災・減災」ステージ ② “未来特救ゴッドイーグル”「災害時の共助」ステージ ③ 知っていて欲しい「避難所開設訓練」ステージ ④ 消防署防災啓発ブース(消火訓練等) 自衛隊「1.17は忘れない」写真パネル&救助アイテム展示ブース</p>	480

令和4年度ひょうご安全の推進事業助成金交付決定一覧表【全県・地域事業】

	県民局	事業区分	事業名	実施団体名	実施日	実施場所	主な実施内容	参加人数 (実績)
16	神戸	地域	令和5年(第25回)東灘市民放水大会	東灘市民放水大会実行委員会	1月29日	住吉川河川敷	<p>区民による「安全で安心なまちづくり」への決意表明の年頭行事として位置づけ、区民の憩いの場である住吉川に区民(防コミ・各種団体・企業等)約1,000名以上が一堂に集い、大震災の犠牲者に追悼の意を表すとともに、消防ポンプによる放水を行うことにより、防災意識の向上と地域の活性化を図る。また、震災時の経験と教訓を継承する。</p> <p>(1) 第1部 式典 ・震災犠牲者への黙祷 ・来賓紹介 ・副市長あいさつ ・市議員祝辞 ・参加団体代表者による「安全宣言」</p> <p>(2) 第2部 訓練 ・東灘消防団による小型動力ポンプ操法訓練披露 ・一斉放水(東灘区民) ・炊き出し訓練</p>	500
17	神戸	全県	レスキューロボットコンテスト2022	(一社)アール・アンド・アールコミュニケーション	8月13日 8月14日	神戸サンボホール	<p>【レスキューロボットコンテスト】 震災で被災した家屋の中に閉じ込められた要救助者を模したダミー人形を、遠隔操縦を主としたロボットによりいかに迅速かつやさしく救助するかを競う。今回の特徴は以下の通りである。 ①演出を工夫し、子供たちを含む一般の観客にも親しみやすく競技を観戦できるとともに、競技フィールドを刷新して競技内容に実際のレスキュー活動の要素を多く取り入れることで、楽しみながらレスキューの重要性とともにその難しさも実感できる。 ②新フィールドでの現地での競技会開催を目指す。昨年から開始したオンライン配信も引き続き行い、全国からレスコンを気軽に視聴いただき、防災・減災の重要性を啓発するとともに、次回以降の現地での競技会観戦を誘う。</p> <p>【併設展示「あそぼう！まなぼう！ロボットランド」】 消防、防災、ロボット技術に関連するブース出展と参加型イベントを競技会と併設で実施し、特に子供たちへの科学技術の楽しさと防災の大切さを啓発する。競技会と補完し合いながら、防災・減災の啓発と科学技術のすそ野拡大を目指す。 計画中の参加型イベント(参)と展示(展)参-①楽しい工作教室/参-②防災すごろく/参-③レスコンロボット操縦体験/参-④ロボクラフト工作(要・教材費)/参-⑤親子プログラミング教室(要・講習費)/展-①消火器などの消防機器/展-②レスキュー機器展示と救急救命訓練体験/展-③VR災害体験/展-④各種先端ロボット展示/展-⑤レスコンのあゆみ</p>	3,508
18	神戸	全県	防災市民サミット2022& 防災ガイドブックVOL.8	特定非営利活動法人ユニバーサル・スポーツ振興協会	11月5日 1月～3月	① 防災市民サミット：中央区文化センター ② ガイドブック製作：主催団体事務所	<p>① 防災市民サミット：「内閣防災省の最初の役割」仮題 学識者による講演と、被災地支援活動報告を兼ねたシンポジウム開催 会場にて動画を撮影し、後日編集の上参加者向けに配信を行う。</p> <p>② 防災ガイドブック：学校、職場、地域で取り組める民間の防災教育、防災事業を紹介した印刷物の製作と頒布</p>	200

令和4年度ひょうご安全の推進事業助成金交付決定一覧表【全県・地域事業】

	県民局	事業区分	事業名	実施団体名	実施日	実施場所	主な実施内容	参加人数 (実績)
19	神戸	全県	① 地域の備えを学ぼうさい!“みんなのまちの再発見!防災まちあるき”およびいきいきあまっ子”夏キャンプ“	一般社団法人兵庫県子ども会連合会	5月1日	県下5箇所(加古川市、丹波市、たつの市、宍粟市、尼崎市の公民館)	<p>(1)地域の備えを学ぼうさい!“みんなのまちの再発見!防災まちあるき” 地域の大人や子どもたちが、防災・減災の視点で自分たちが住むまちを見て歩き、災害に強いまちやそこでの暮らし方を住民の視点で考える機会とする。 ・テーマ(仮):「さいがいに強いまちをめざして たんけん・はっけん・ほっとけん」 ・対象者: 不特定多数 ・人数:4人から</p> <p>(2)災害時に役立つ技を学ぼうさい!“防災キャンプ” 子ども会指導者や子どもたちが、被災時の状況を想定した生活(料理やテント設営等)を体験し、被災時を乗り切るため役立つスキルやマインドを養う機会とする。 ・テーマ(仮):「さいがいを乗り切るために 工夫と助け合いで何とかできるデエ・キャンプ」 ・対象者:小学生以上の親子 ・人数:4人から</p>	130
20	淡路	地域	うずまるフェスタ	うずまるフェスタ実行委員会	中止	福良港津波防災ステーション及び福良地区公民館	<p>① 防災学習:福良港防波堤事業の概要についての学習会と福良港排水機場内の見学を予定。 非常食の試食体験会:地元の有志により、市の備蓄食料である素麺の試食体験会を実施。</p> <p>② シンポジウム:防災講演会、防災ジュニアリーダー活動発表、防災劇 参加型イベント:防災グッズ作成体験、防災謎解きゲーム、防災お菓子ポシェットづくり体験により、災害時の対応を学び備える。</p>	
21	阪神南	全県	防災訓練コンサートinあましんアルカイクホール・オクト	公益財団法人尼崎市文化振興財団	9月4日	あましんアルカイクホール・オクト	<p>防災訓練コンサートinあましんアルカイクホール・オクト</p> <p>■防煙訓練 開演前に会場ホワイエ付近において防煙体験を実施する。</p> <p>■防災訓練コンサート コンサート中の地震を想定し、出演者やお客様にも参加いただき避難訓練を行います。いつ襲ってくるかわからない、いざという時に備えて楽しみながら防災意識を高めることができる参加型の避難訓練コンサートを体験いただけます。コンサート中に地震による火災が発生したと想定し、職員の指示に従い、実際にお客様に避難していただきます。</p>	342

令和4年度ひょうご安全の推進事業助成金交付決定一覧表【全県・地域事業】

	県民局	事業区分	事業名	実施団体名	実施日	実施場所	主な実施内容	参加人数 (実績)
22	神戸	全県	民団防災委員会「阪神・淡路震災27年事業」	韓国民団兵庫県本部 防災対策委員会	9月4日 11月6日 9～11月毎月適宜	兵庫県韓国文化教育院、 人と防災未来センター、 兵庫県広域防災センター	<p>1.秋期防災体験事業 ・防災に関する意識向上と対策力量強化のために防災施設での体験を行う。 ①防災施設(人と防災未来センター・兵庫県広域防災センター)での研修を通じて防災意識の向上と防災対策力量向上を目指す。</p> <p>2.民団防災の日事業 ・いざという時に備えて、防災に関する講演会や避難訓練を通じて、防災・減災を共に考える一日とする。 (内容) ●防災を考えるテーマにした講演会&討論会 「みんなで考えよう、自分の防災」 講師:未定</p> <p>3.防災体制強化事業 ・緊急時連絡体系訓令や通報訓練、講習、その他防災体験学習等々 ●通報訓練 ●いざという時のための防災連絡体系の整備 ●防災対策委員会による意見交換や学習会等々</p>	96
23	阪神南	地域	阪神・淡路大震災復興28周年 新春邦楽コンサート	新春邦楽コンサート実行委員会	1月15日	芦屋市民センター(ルナホール)	<p>芦屋三曲協会(箏、三絃、尺八)を中心とした追悼曲・邦楽曲の演奏 ・1・17宣言(文書)を配布し、開会あいさつで事業趣旨を説明。 ・防災、減災関係のPRチラシをプログラムにはさみ込むとともに開会あいさつで事業趣旨を説明。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、入場者の検温、手指消毒、マスク着用、および利用者名簿を利用者の同意を得て作成し、利用日から一か月間は保管する。</p>	390
24	但馬	全県	ぼうさいこくたいプレゼンテーション事業	一般社団法人ドローン減災士協会	10月22日 10月23日	人と防災未来センター	<p>ドローン減災士が切り開く地域防災の未来と題したブースを設置し、ドローンを活用して地域防災に取り組むドローン減災士の具体的な活動やドローンが実施できる具体的な災害対応についてパンフレットや映像を用いて、近未来の地域防災のあり方を提案します。なお防災用ドローン実機を展示すると共に、なぎさ公園を拠点にして屋外で災害対応ドローンのデモ飛行を実施し、ブースのテレビで映像を放映します。</p>	12,000

令和4年度ひょうご安全の推進事業助成金交付決定一覧表【全県・地域事業】

	県民局	事業区分	事業名	実施団体名	実施日	実施場所	主な実施内容	参加人数 (実績)
25	神戸	全県	阪神・淡路大震災と多発する自然災害の検証作業と被災地間の交流事業	兵庫県震災復興研究センター	3月21日	神戸市立ふたば学舎	<p>I.「令和4年 第7回防災推進国民大会」(2022年10月22日～23日)のポスターセッション(災害復興と復興災害)に参加して、全国各地からの参加者各位に検証内容の一端を伝える。</p> <p>II.『検証 大震災28年と復興災害―「借上公営住宅」強制退去策を問う』(Ⅷ)をまとめ、それを活用した研究・実践討論集会を開催する(2023年3月21日)。東日本大震災や熊本地震、そして相次ぐ自然災害の被災地から報告者を招く。リアルでの参加が困難な場合は、オンライン参加を可能にする。</p> <p>III.『検証 大震災28年と復興災害―「借上公営住宅」強制退去策を問う』(Ⅷ)を国内外のメディア、政府や国会、研究機関、NGO・NPO等に配布する</p>	950
26	神戸	地域	ぼうさいこくたい兵庫県大会withユース	一般社団法人おいしい防災塾	10月22日 10月23日 12月上旬	兵庫県立人と防災未来センター・レバンテホール	<p>若者(ユース)にぼうさいこくたい兵庫県大会に参画し、この先もずっと続くぼうさいこくたいを体験させることで、阪神淡路大震災という大きな災害を未来永劫、若者が伝承し、つなげていく為に申請しております。防災に関連の無い部活動等をしている若者の多い中、ぼうさいこくたいという大きな事業が兵庫県で開催される。日頃、防災の意識を持っていない若者にこそ、災害について、防災についての意識を啓発したい。その為に、同世代の団体が参画しているぼうさいこくたい出展等に、若者が取材に行き、客観的に同世代の団体のしている事を捉え、ライブ配信で当日、報告。そして後日、報告発表会を開催する。事前に兵庫県立人と防災未来センターを見学し、防災関連の団体が出展している様子等を見学した上で取材を実行する。</p> <p>県の教育機関に知らせ、ぼうさいこくたい両日に現地レポーターとして、活動してもらい、毎年開催される大きな事業ぼうさいこくたいを若者が参画する事で、記憶に残る阪神淡路大震災、そして様々な災害を考える機会とし、そのことから防災を啓発する。</p>	128
27	神戸	全県	BGMスクエア ALL HATスペシャルステージ	ビージーエムスクエア実行委員会	10月23日	人と防災未来センター	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全国で被災地支援活動に取り組む音楽家が集い、音楽を通じて支援や防災を親しみやすく伝える ・ 音楽を通じた防災・減災の啓発 ・ 防災・減災のハードルを下げ、広く一般の方と意識を共有する ・ 音楽を通じ、神戸の培った助け合いの災害文化、震災の記憶を継承する ・ ぼうさいこくたい2022同時開催のALL HATステージにて実施 <p>別紙：06.BGMスクエアALL HAT特設ステージ企画書 参照</p>	200

令和4年度ひょうご安全の推進事業助成金交付決定一覧表【全県・地域事業】

	県民局	事業区分	事業名	実施団体名	実施日	実施場所	主な実施内容	参加人数 (実績)
28	神戸	全県	震災27年、神戸のリアル～地域の目線から～	ようこそ神戸！市民プロジェクトチーム	10月22日	人と防災未来センター	内閣府主催「ぼうさいこくたい2022」のセッションプログラムとして実施。 全国各地の被災者支援活動従事者と、神戸市内の支援従事者や地元住民を交え、支援のあり方や復興まちづくりのあり方を考えるパネルディスカッション コーディネーター：石田裕之（ひょうご防災リーダー、ふれあい活動アドバイザー） パネラー：一般社団法人りとりと 兼子佳恵氏（宮城県石巻市） NPO法人やっぺす 高橋洋祐氏（宮城県石巻市）※オンライン 倉敷市真備町社会福祉協議会 山下雅光氏（岡山県倉敷市） 合同会社フォレストランド 森章浩氏（熊本県熊本市） 脇の浜ふれあいのまちづくり協議会 原永浩美氏（兵庫県神戸市） 他 数名予定 監修・講評：兵庫県立大学減災復興政策研究科 澤田雅浩氏 終了後はHAT神戸のまち歩き、災害公営住宅の住民さんとの交流会も実施	65
29	神戸	全県	ぼうさいこくたい2022 屋外展示「災害時の医療対応を学ぼう（発災から避難所まで）」セッション「阪神・淡路大震災時の対応と復興について ～伝承。行政・消防・災害医療の視点から～」	神戸赤十字病院・兵庫県災害医療センター	10月22日 10月23日	なぎさ公園前道路 JICA関西	ぼうさいこくたい2022にて、屋外展示とセッションを実施します。 ① 屋外展示 テーマ：「災害時の医療対応を学ぼう（発災から避難所まで）」 内容：パネルや動画を活用して、災害時の医療活動についてお伝えします。お子様向けに無線機やトリアージについてのイベントを開催します。 ② セッション テーマ：「阪神・淡路大震災時の対応と復興について ～伝承。行政・消防・災害医療の視点から～」 パネリスト：井戸敏三（ひょうご震災記念21世紀研究機構特別顧問、前兵庫県知事） 鍵本敦（神戸市消防局長、兵庫県下消防長会会長） 中山伸一（兵庫県災害医療センター顧問） 司会者：高井美紀（毎日放送アナウンサー）	1,300
30	神戸	全県	ぼうさいこくたい「拡げよう！防災士ネットワーク！～防災士の活動紹介と地域防災情報の発信～」	特定非営利活動法人兵庫県防災士会	10月22日 10月23日	人と防災未来センター（西館1階）	HAT神戸で開催される「ぼうさいこくたい2022」のプレゼンテーション枠として、人と防災未来センター西館1階においてブース出展を行う。 当団体ブースでは、「兵庫県防災士ネットワーク」と協働し、「拡げよう！防災士ネットワーク！～防災士の活動紹介と地域防災情報の発信～」と題して、兵庫県内の防災士ネットワークの拡充と県内における地域防災情報の発信を目的とした展示および説明を行う。 展示内容：防災士の活動紹介（パネル展示、動画上映、パンフレット配布） 地域防災情報の発信（CGハザードマップ紹介）	2,000

令和4年度ひょうご安全の推進事業助成金交付決定一覧表【全県・地域事業】

	県民局	事業区分	事業名	実施団体名	実施日	実施場所	主な実施内容	参加人数 (実績)
31	神戸	地域	第15回兵庫区防災フェスタ	兵庫地区防火安全協会	11月9日	みなとがわホール	(1) 震災継承講演会 区内の中学生に対し、防火安全協会員に震災(災害派遣等を含む)の経験談を語っていただき、震災の記憶を継承する。 (2) 展示コーナー 地震、津波の写真パネルや非常食、訓練資機材、防災用品、訓練人形等を展示することにより、区民等の防火防災意識を高める。 (3) 表彰式 地域の防火防災に顕著な功績のあった事業所、防災福祉コミュニティ、個人、消防団員及び消防職員を表彰し、区民等に広報する。(広報媒体:広報こうべ兵庫区版58,000部/月)	137
32	神戸	全県	慰霊と復興のモニュメント 震災を忘れないブースの設置と銘板追加式典	NPO法人阪神淡路大震災1.17希望の灯り	12月3日 ～ 12月12日	慰霊と復興のモニュメント	「阪神淡路大震災1.17を忘れない」エリアの設置・運営 阪神淡路大震災の鎮魂と復興を願って毎年開催されている神戸ルミナリエの開催期間中に、主催団体である「神戸ルミナリエ組織委員会」と協働で、メイン会場である東遊園地にある「慰霊と復興のモニュメント」内にて、震災を知らない若い世代が中心となって来場者の方々に震災の出来事を語り継ぐことのできる場所として設置・運営する。 神戸ルミナリエの代替事業と併せて、同様のエリアを設置し、震災を忘れず語り継ぐ活動とする。 「銘板追加式典」 毎年、慰霊と復興のモニュメント内にある瞑想の空間に、震災で亡くなられた方々のお名前をご遺族と一緒に銘板として追加する銘板掲式典を実施する。今年度は10名の方の銘板掲式を予定。	1,000
33	阪神北	地域	～震災を風化させない、忘れない、伝える、活かす、備える～ 第14回宝塚チャリティコンサート	花かわち倶楽部	12月5日	宝塚市立文化施設ソリオホール (宝塚市)	防災啓発を含めた歌謡コンサート ・マグニチュード7の地震発生を想定し、会場内から会場外への参加者全員による避難訓練 ・ひょうご防災特別推進員がコンサート前に「住宅の耐震化」「室内安全対策」「家庭における備蓄のすすめ」「避難」「兵庫県住宅共済制度の説明」「住宅用火災報知器の設置」に関するミニ講座 ・宝塚市から東日本大震災被災地へ派遣された職員による講演と、宝塚市内に避難している東日本大震災被災者の歌謡コンサートへの招待、舞台参加による交流の実施 ・会場内で震災関連のビデオ上映会 ・ゲスト歌手、サクソ奏者による震災時の避難所訪問時の話を含めた追悼コンサート	180
34	神戸	地域	第16回 防災を考える区民のつどい	神戸市灘防火安全協会	3月5日	神戸市立灘区民ホール	「防災を考える区民のつどい」の開催 【第1部】灘防災の賞授賞式 地域防災に顕著な功績のあった地域団体、事業所、消防団員及び消防職員の表彰式を区民の前で行いその功績を称える。 【第2部】防災講演会 近年様々な災害が起り、いつ自分が被災し避難する境遇になるかわからない。防災についてをより身近に考えてもらうために著名人を招き、聴講者目線のわかりやすい講演会を開催する。	200

令和4年度ひょうご安全の推進事業助成金交付決定一覧表【全県・地域事業】

	県民局	事業区分	事業名	実施団体名	実施日	実施場所	主な実施内容	参加人数 (実績)
35	阪神南	全県	ひょうご安全の日推進事業-第41回記念アルカディアイースターコンサート 追悼の祈りと希望のコンサート	公益財団法人アルカディア音楽芸術財団	3月31日	兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール	追悼コンサートの開催 ・曲目「アヴェ・マリア」ほか ・主催者の挨拶の際、震災の教訓の呼びかけや追悼の言葉を述べる ・東日本大震災の県内被災者や被災地域在住の視覚障害者を招待 ・ひょうご防災アクションの無料配布を行う	196
36	神戸	全県	キッズ防災検定	特定非営利活動法人検定協議会	12月1日 ～ 3月31日	兵庫県下の小学校	小学生対象の防災検定 ・阪神・淡路大震災の経験と教訓を活かし、日々の生活の中で、防災に対する意識を楽しみながら高めることができる防災検定を実施 ・県下の小学校に告知し、申し込み校に問題と解答を郵送、合格者には認定証を発行	14,000
37	神戸	全県	1000人の歌声を響かせる 1.17震災祈念コンサート	阪神淡路大震災メモリアルコンサート実行委員会	1月15日	神戸常盤アリーナ(兵庫県立文化体育館)	通常のコンサートと異なり、鑑賞するだけではなく、参加型のコンサートである。事前に練習を重ねた一般シンガーとゴスペルグループ(human note)、そのリーダー寺尾仁志、ゲストシンガーがともに舞台上に立ち、一つの歌声をつくりあげる。阪神淡路大震災で亡くなられた方の鎮魂へ歌とメッセージを届ける。震災から28年経過した現在も風化することなく、より強い一歩を踏み出していく為の力と学びを得られるコンサートにしていきたい。当時を振り返るだけではなく、震災を知らない世代へ震災を語り継いでいく役割も担っている。神戸の街に元気を与えられるコンサートである。	1,000
38	阪神南	地域	第17回震災を忘れないメモリアルコンサート	特定非営利活動法人 ええうた工房	1月14日	いたみホール 中ホール	過去16回行なってきました「震災を忘れないメモリアルコンサート」の第17回目の開催になります。第10回から「ジョイント」形式として、他の団体と協力して開催する形を継続しており、今回も5団体でのコンサートになると思われます。阪神淡路大震災から27年が過ぎましたが、地震のみならずほかの自然災害時でも助け合いの精神や行動は重要です。出演団体・出演者と共に防災や助け合いの精神をつなぐためのイベントを行います。また、前回・前々回に引き続いてひょうご防災特別推進員の方にも来て頂いて、関東大震災から100年にあたり防災意識を高める内容にします。	185
39	神戸	全県	2022年度災害と障害者のつどい 誰ひとりとり残さない！～医療・保健・福祉の連携と特別支援学校の役割～	特定非営利活動法人兵庫障害者センター	1月29日	あすてつが KOBE セミナー1, 2	講演 「医療・保健・福祉の連携(仮)」 神戸市看護大学 災害看護・国際看護学分野教授 神原 咲子先生 講演 「特別支援学校での防災」 兵庫県教育委員会(未定) 講演 「特別支援学校アンケート」 人と防災未来センター 主任研究員 河田 慈人氏 人と防災未来センター 主任研究員 正井 佐知氏 報告 「県内の自治体アンケート」 神戸大研究員 大西 一嘉氏 登壇者によるパネルディスカッションを行い意見交換をする	94

令和4年度ひょうご安全の推進事業助成金交付決定一覧表【全県・地域事業】

	県民局	事業区分	事業名	実施団体名	実施日	実施場所	主な実施内容	参加人数(実績)
40	北播磨	全県	犠牲者を追悼し震災を思い起こす事業	神戸・心絆	1月17日・3月11日	神戸・心絆事務所横、名取市震災メモリアル公園内	竹林にて竹を切り出しのこぎりで定めた長さに切り竹灯籠を作り、そこに手作りのろうそくを浮かべて追悼をする。 1月17日には宮城県から来られた方や、近隣の方々と竹灯籠に灯りをともし、参加された方々と鎮魂と交流をします。 3月11日には兵庫から竹を送り、メンバーも現地へ行き、1月17日と同様に竹灯籠を並べ、ろうそくを浮かべ、なくなられた方々を参加された方々と一緒に鳳沈降し献花します。 1月と3月の両日で訳本ほどの竹灯籠を作成し文字を作ります。	160
41	神戸	全県	1.17鎮魂と語り継ぐために 第23回特別演奏会	公益社団法人アンサンブル神戸	1月21日	神戸新聞松方ホール	神戸市民からなる「神戸21世紀混声合唱団」と関西を代表するオーケストラ「アンサンブル神戸」による演奏でオーストリアの作曲家F.v.スッペのレクイエム他を演奏する。この演奏会には様々な災害に遭遇された方々を70名招待する。合唱団は2022年8月より毎週1回練習を行い、オーケストラメンバーには2か月前に楽譜を配り練習してもらった。公演2日前から全体練習を行う。 管弦楽 アンサンブル神戸 神戸21世紀混声合唱団 ソプラノ 松原みなみ アルト ナムユカ テノール 西影星二 バリトン 高橋純 指揮 矢野正浩 当日ホールロビーにて神戸大学名誉教授、田結庄良昭氏による堤防決壊による水害に対する防災対策をレクチャーする。	411
42	阪神南	全県	関西学院大学 災害復興制度研究所 2023年復興・減災フォーラム	関西学院大学 災害復興制度研究所	1月7日～1月8日	関西学院会館(ハイブリッド開催)	令和4年度の復興・減災フォーラムは「関東大震災100年われわれに遺したもの～帝都復興と人間の復興」をメインテーマに2日間の日程で開催する。初日の全国被災地交流集会「円卓カフェ」は「関東大震災100年、あらためて『復興』を語り合う」をテーマに、所長の山泰幸が長年地域で実践してきた「哲学カフェ」の形態で「円卓カフェ」として実施予定。2日目のシンポジウムでは、作家の玉岡かおる氏による特別講演、東京大学教授の中島隆博氏による基調講演の後、パネル討論では、「関東大震災100年、あらためて『復興』概念を問い直す」をテーマに有識者らによる議論を展開する。 関東大震災は、「復興」という言葉を生んだのをはじめ、都市計画一区画整理という都市再生の手法を初めて実践した。さらにキリスト者や大学生によるボランティア、関西への文化の伝播、被災者らの広域避難、そしてヘイトクライムという負の遺産まで、わが国の歴史に刻んだ。我々に遺されたこれらの産物をどう整理し、今後の災害復興に生かしていくべきなのかを、改めて考える。	209
43	阪神北	全県	防災フェア ～皆で守ろう わが街・いのち～	能勢口商業協同組合	12月3日	市管理の「藤ノ木さんかく広場」と隣接の「ポケットパーク」	・水消火器実射体験 ・救急講習(AEDの取扱い説明)・模擬119番通報 ・防災の話 ・炊き出し・地震パネル展示 ・消防車の展示 ・災害救助犬のデモンストレーション ・ライブパフォーマンス(和太鼓など)など ・被災者鎮魂イルミネーション点灯(12月3日～12月25日) ※地域住民、地元関商業団体等の協賛・協力を得て実施します。	600

令和4年度ひょうご安全の推進事業助成金交付決定一覧表【全県・地域事業】

	県民局	事業区分	事業名	実施団体名	実施日	実施場所	主な実施内容	参加人数 (実績)
44	神戸	全県	1.17と3.11の犠牲者を追悼し被災者同士や災害ボランティアの学習会	全国災害ボランティア支援機構	1月16日 ～ 3月13日	被災者と災害ボランティアとの報告会・学習会 神戸市立中央区文化センター会議室 (令和5年1月16日) 名取市閉上中央自治会館(令和5年3月17日) 追悼式参列神戸東遊園地(令和5年1月17日) 兵庫県追悼式(令和5年1月17日)ハッ	④ 犠牲者を追悼し震災おもい起す事業 ⑤ 震災以降の国内外の災害の教訓を共有・発信する事業 1.17と東日本大震災の被災者との報告会・学習会(令和5年1月16日、3月11日) 宮城県名取市閉上の被災者と被災地へボランティア活動に入った兵庫のボランティアとの11年間の被災地支援活動報告会・学習会を神戸と宮城県名取市で行う。 兵庫県・神戸市の1.17の追悼式への参加 宮城県名取市閉上での追悼式への参加 1.17と3.11で学んだ教訓・経験を伝承しお互いに学ぶ	80
45	神戸	全県	神戸防災のつどい2023	災害対策セミナー実行委員会	2023/1/15	神戸市立中央区文化センターほか 計3か所	・各団体主催セミナー(10:00～16:00)(中央区文化センター会議室) ・神戸学院大学、117KOBEBぼうさい委員会の学生、民間企業によるワークショップ(11:00～15:00)(中央区文化センター、神戸・三宮センター街1丁目) ・神戸市、報道機関、民間企業によるパネル・防災グッズ等の展示(11:00～15:00)(神戸・三宮センター街1丁目) ・スタンプラリー(10:00～16:00)(各会場)	2,100
46	阪神南	地域	1.17震災メモリアル市民の集い2022&上映会	「1.17を忘れない心の輪ネットワーク」実行委員会	1月14日	尼崎市立中央北生涯学習プラザホール	阪神大震災での被災を経てその貴重な体験と教訓を活かし、その記憶を風化させないよう、本事業を実施する。新型コロナウイルスの流行で引きこもりがちな人たちと一緒に私たちは地域で支え合い、災害時のネットワークの構築を目指してNPO市民活動団体、行政と連携して実行委員会を設置。 ①1.17追悼・メモリアル市民の集い ②出前上映会開催 ころこ継ぐ 支えあい地域防災 会場 地域自治会館、学校等で出前上映 震災記録DVD「レンズが泣いた日々」震災から10年の歩み 音楽、非常時の防災グッズ展示体験	135
47	神戸	全県	国際復興フォーラム2023	「国際復興フォーラム2023」実行委員会	1月27日	神戸国際会議場	国連等の国際機関や行政、関係団体と連携し、被災地の災害経験やそこから得られた教訓、復興過程における将来の災害に備えた取組について、情報共有や知見の交換を行うため、「国際復興フォーラム2023」を開催する	443

令和4年度ひょうご安全の推進事業助成金交付決定一覧表【全県・地域事業】

	県民局	事業区分	事業名	実施団体名	実施日	実施場所	主な実施内容	参加人数 (実績)
48	淡路	地域	「防災意識高揚のつどい」	郡家地域交流広場推進委員会	1月17日	復興拠点ゾーンコミュニティ住宅前広場	<p>《具体的内容》 震災の発生から28年を迎え、震災の体験を風化させず後世に語り継ぎ「支え合う地域社会」の実現を目指す。『防災意識高揚のつどい』をR4.1.17に開催し、犠牲者を追悼し、今後起こりうる災害に備えて防災に対する意識を高めるために継続して開催します。 ・淡路市と連携し、アークライト1基(防災ライト)を活用して、災害を想定した避難訓練を実施。地域住民はじめ地域の子供が参加 ・淡路市によるハザードマップ説明会の実施 ・防災推進委員による防災講義 ・鎮魂灯としてキャンドルを商店街周辺に設置し黙祷する。 ・鎮魂イベントとしてハンドベル、消防隊ラッパ演奏、和太鼓演奏。 ・停電を想定して互いに支えあうための自家発電での炊き出しによりコミュニティを図る。</p> <p>今後起こりうる東南海地震の発生に備え、毎年継続事業をすることにより、より防災意識を高めたい</p>	100
49	神戸	全県	1.17震災メモリアル行事「阪神・淡路大震災を忘れない～21世紀を担う私たちの使命～」兼 ひょうごユース防災・減災ワークショップ	ひょうごユース防災・減災ワークショップ実行委員会	1月13日	兵庫県立舞子高等学校	<p>本校生徒、中学生および地域住民が参加し、阪神・淡路大震災の犠牲者を追悼するとともに、阪神・淡路大震災や東日本大震災を体験した様々な分野の方から当時のお話を聞き、災害の理解を深める。全体会では追悼演奏や東日本大震災時に宮城県で被災した方の講演をおこなう。分科会では、ライフラインや救助活動についてのお話を聞く。また、アレルギーに対応した非常食体験を実施し、災害弱者や防災備蓄に対する関心を高める場とする。午後のワークショップでは防災士の資格を持つファシリテーターの進行により、兵庫県中高生防災ジュニアリーダーの生徒を中心に、災害初動期における対応訓練を行う。</p>	1,100
50	神戸	全県	PRAY FROM KOB E 2023 ～明日(あす)につなげるコンサート～	兵庫県合唱連盟	1月22日・3月11日	1/22 神戸文化ホール大ホール 3/ 11 元町1番街商店街	<p>1/22 コロナ禍のため、歌うことを控えていた団体も徐々に活動を開始していることから大学・女声・男声・一般の合同合唱にて被災地にエールを送る。 被災地である宮城県より宮城県合唱連盟有志合唱団を招聘する。 シンポジウムでは被災地の復興の様子や防災にかかわる課題等について意見を交わす。</p> <p>3/11 団体(10団体程度を予定)ごとの街頭演奏 元町商店街の入り口付近にて各団体が震災を忘れないよう、合唱にて伝える</p>	446

令和4年度ひょうご安全の推進事業助成金交付決定一覧表【全県・地域事業】

	県民局	事業区分	事業名	実施団体名	実施日	実施場所	主な実施内容	参加人数 (実績)
51	神戸	全県	こころ豊かな人づくり 神戸500人委員会 「500人鍋」と「防災学 習」	こころ豊かな人づく り神戸500人委員 会	1月17日	ハット神戸 なぎさ公園	<p>コロナウイルス感染症、豪雨、被害などの災害が突発的に多発しており、28年前の阪神淡路大震災で体験したことを「備え」「活かし」「伝える」 非常時における防災意識の啓発活動取り組んでいく。 当事業にこころ豊かな人づくり神戸500人委員会がこれ迄継続する「炊出し500人鍋」と防災学習を実施する。 「炊出し500人鍋」……(有料 1杯 @200-)・ 「防災学習ゲーム」……(有料 ゲーム他 @100-)</p> <p>こころ豊かな人づくり神戸500人委員会の活動状況のPR パネル掲示</p>	130
52	阪神北	全県	負けない 忘れない 3.11 —ここから生まれる 未来 びっくり箱 Part.12	「みんな元気になろ う・びっくり箱」実行 委員会	3月5日	宝塚市立文 化施設ソリオ ホール 及び ソリオ1	<p>本事業では、プロの舞台芸術創造団体による人形劇や演劇、コンサート、芸能等の舞台上演に加え、震災に関するシンポジウム、地元商店街・百貨店をエリアにした参加型街遊びなど地域と共に創るプログラムを実施します。 この催しは、2011年3月11日の東日本大震災の惨事を風化させず、被災地を支援し続けたいという思いで、児童青少年向けの公演を行う関西の劇団や創造団体が中心となり、2011年より毎年開催、2014年から開催地を阪神・淡路大震災の被災地でもある宝塚市に移し、2023年で12回目を迎えます。親子で舞台芸術などを体験してもらおうと共に、創造団体と公共ホールと地域が一体となり、震災後の現在・未来について、自分たちができることをあらためて考える機会をつくります。 参加団体は無償で上演や実演を提供。また、この催しによる収益と会場募金は、「宝塚市文化財団芸術文化基金被災地こども支援「びっくり箱基金」を通じて被災地の子どもの文化活動支援に役立てる経費に活用します。</p>	297
53	神戸	全県	阪神・淡路大震災28 年メモリアル集会	阪神・淡路大震災 救援・復興兵庫県 民会議	1月17日	長田区文化 センター別館 ピフレホール	<p>28年メモリアル集会は、記念講演で熊本地震災害における被災者支援、災害復興予算の在り方について考える集会にしたいと思います。</p> <p>記念講演 テーマ「被災者支援制度の在り方」 講 師 高林秀明熊本学園大学教授</p> <p>また、阪神・淡路大震災28年の残された街づくり、被災者の原状等について2人から報告いただけたらと思っています。</p>	126

令和4年度ひょうご安全の推進事業助成金交付決定一覧表【全県・地域事業】

	県民局	事業区分	事業名	実施団体名	実施日	実施場所	主な実施内容	参加人数 (実績)
54	神戸	全県	1.17は忘れない～アスタスチールパンコンサート2023	アスタ新長田スチールパン振興会	3月12日	神戸市立長田区文化センター別館 ピフレホール 大ホール	<p>* 復興事業の一環として誕生した地元新長田市民スチールオーケストラ“Fantastics”による演奏及び過去の被災地支援の紹介。</p> <p>* アスタ新長田スチールパン振興会が運営するスチールパンスクールの受講生約70人による演奏。</p> <p>* 「しあわせ運べるように」を歌唱＋スチールパンアレンジで演奏、震災の記憶の風化を防止する。</p> <p>* その他：防災啓発を目的に防災行事の案内チラシや非常持ち出し品リスト、地元長田の防災に関する資料を参加者に配布する。</p>	300
55	神戸	全県	防災・減災シンポジウム(2023) 「防災力向上を目指したまちづくりと防災技術」	公益社団法人 日本技術士会近畿	1月15日	神戸市中央区文化センター	<p>各地で災害が発生するなか、災害リスクを少なくするためには、自分たち自身や地域コミュニティの防災力の向上が大事となります。 防災に関する地域組織の課題を取り上げ、また専門家から防災技術の紹介などの基調講演、話題提供を頂き、地域防災力の向上について意見交換をします。</p> <p>○基調講演：「公園・グリーンインフラによるまちづくりと災害復興支援(仮)」 ～ 石巻市復興祈念公園の復興支援を通じて～ 講師 平田富士男氏(兵庫県立大学大学院 緑環境景観マネジメント研究科 教授)</p> <p>○話題提供：「ハザードマップの有効な活用方法と課題(仮)」 講師 田村浩敏氏(株)建設技術研究所 東京本社 社会防災センター長(技術士)</p> <p>○話題提供：「専門家の連携による復興支援と事前防災活動(仮)」 講師 尾藤 寛氏(近畿災害対策まちづくり支援機構 事務局長(弁護士))</p> <p>○話題提供：「気象情報の情報発信について(仮)」 講師 發田あずさ氏((一財)日本気象協会(気象予報士、技術士))</p> <p>討論会：講師、会場・オンライン参加者によるパネルディスカッション コーディネーター 森川勝仁氏(日本技術士会近畿本部 防災支援委員長(技術士))</p>	148
56	阪神南	全県	「ぼうさい動画教材づくり～教訓・学びを未来の備えにつなぐへ」	特定非営利活動法人さくらネット	1月8日～2月28日	兵庫県公館、兵庫県民会館、さくらネット事務所	<p>1. 1.17未来賞「ぼうさい甲子園」実践報告を動画教材とする (1)企画調整会議の開催(zoom会議) (2)式典後日の教材編集(委託)</p> <p>2. 1.17未来賞「ぼうさい甲子園」関係者交流・撮影会の実施 (1)受賞者の交流の機会を運営する (2)兵庫県内の応募校による受賞者へのインタビュー撮影を行う ①被災体験者の語り ②防災教育実践者の語り (3)式典後日に教材を編集する(委託)</p> <p>3. 「教訓・学びを未来のそなえにつなぐ」 (1)オンライン研修の開催 (2)法人のHP等の活用による教材活用の促進</p>	250

令和4年度ひょうご安全の推進事業助成金交付決定一覧表【全県・地域事業】

	県民局	事業区分	事業名	実施団体名	実施日	実施場所	主な実施内容	参加人数 (実績)
57	神戸	地域	防災訓練を通じて未来に託す子どもたちに伝える大人の役割 ・阪神・淡路大震災復興祈念とんどまつりを通じて安全・安心な街づくり ・災害時活用地域版防災マニュアルによる防災訓練 ・地域力アップのよる災害要援護者への避難誘導体制の構築	特定非営利活動法人 大原・桂木OKサポート	1月15日	神戸市北区 大原山公園 グランド	1.令和5年1月15日(日)【とんどまつり、防災訓練】 当地域では、阪神淡路大震災への鎮魂と街の復旧・復興の願いを込めて「1月17日」を決して忘れないように、また、次世代の子どもたちに災害の恐ろしさ、人と人との強い絆づくりの大切さをこの行事を通じて培う。昨年同様に、「希望の灯り」を使って実施します。 この事業には、自治会、管理組合、地域内各種団体も参加しての防災訓練として位置づけしております。 訓練は次のとおりです。 ・消火訓練 ①子ども達による消火活動(バケツリレー) ②炊き出し訓練 ・防災福祉コミュニティ・中学生ボランティアによる炊き出し訓練	500
58	神戸	地域	1.17KOBEに灯りをin ながた	1.17KOBEに灯りをin ながた実行委員会	1月17日	鉄人広場(若松公園内)	1)ペットボトル灯籠を「ながた 1.17」の文字の形に並べる。文字前に中学生によるコーラスステージも設置する。 2)鎮魂の想いを込めた和太鼓演奏と共に、側面に事前に協力による追悼メッセージが書かれたLED紙灯籠を並べる。 3)鉄人モニュメントの足元に、手作りろうそくを竹筒に浮かべ、竹灯籠を灯す 4)FMわいわいの会場内放送 5)防災の情報発信・ワークショップ・交流の場の提供 6)募金 7)防災学習、ろうそく作り、灯籠作りワークショップ(事前に地域の小中学校にて実施) 8)竹募金箱作りワークショップ(事前・当日にボランティアが参加して実施)	1,200
59	神戸	全県	「大規模災害時におけるより良い支援のあり方を考える」 社会貢献学会第13回大会 フォーラム	社会貢献学会第13回大会実行委員会	12月17日～18日	神戸学院大学ポートアイランド第一キャンパス	社会貢献学会は、災害時における支援活動を中心に研究活動する学会であり、社会貢献ホフシアターに関わる研究成果を社会へ広く還元している。 今回、「大規模災害時におけるより良い支援のあり方を考える」を統一テーマとし、広島大学先進理工系科学研究所建築学プログラム准教授 三浦弘之氏、一般財団法人ドローン減災士協会代表理事 久保正彦氏、兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科教授 浦川豪氏をお招きし、昨今のドローン技術を災害分野へどのように有効活用していくかをお話していただく。さらに大地震などの広域自然災害による被害軽減を目指すために、ドローンやリモートセンシング技術を利用した災害の被害把握や危険度評価を様々な面から討論していただく。 また、松林展也氏(NPO法人映像記録理事長)によるワークショップ「被災地の記録映像の技法」を実施し、資料としての災害時の記録方法について学ぶ機会を市民や学生に提供する。 本シンポジウムやワークショップは、これから起こるであろう南海トラフ巨大地震をはじめ種々の災害時の適切な対応や支援のための具体的な指針となると確信している。	350

令和4年度ひょうご安全の推進事業助成金交付決定一覧表【全県・地域事業】

	県民局	事業区分	事業名	実施団体名	実施日	実施場所	主な実施内容	参加人数 (実績)
60	神戸	全県	国連アジア太平洋経済社会委員会 震災メモリアル・フォーラム「記憶を未来へ」	国連アジア太平洋経済社会委員会 震災メモリアル・フォーラム「記憶を未来へ」実行委員会	1月 15日	御影公会堂 白鶴ホール	<p>①NHK 神戸放送局の全面協力のもと、「阪神・淡路大震災とその復興過程の記録映像」を震度7の帯の中心地である神戸御影公会堂で放映するとともに、神戸市立鷹匠中学生から紹介する。また、②国連アジア太平洋経済社会委員会の社会問題(インクルーシブ防災)担当官であるAiko Akiを招き、世界の防災のトレンドである「インクルーシブ防災」について教材とともに紹介する。さらに③阪神・淡路大震災から27年間、継続的にメモリアルコンサートを開催しているピアニスト金谷康佑に加え、NHK第9代歌のお兄さん杉田あきひろらと鷹匠中学合唱部で震災復興曲をコラボすることで、その曲の持つ「災害の脅威」「命の大切さ」「備えの意義」「平和」「助け合い」「未来」をひろく発信する。</p> <p>【プログラム(仮案)】</p> <p>1 NHK神戸放送局全面協力「阪神・淡路大震災とはなんだったのか」 映像紹介・解説:中学生(神戸市立鷹匠中学校)</p> <p>金谷康佑</p> <p>2 世界の防災トレンド「インクルーシブ防災について」 国連アジア太平洋経済社会委員会 社会問題(インクルーシブ防災)担当官Aiko Aki</p> <p>3 震災メモリアル 朗読とコーラス 金谷康佑、杉田あきひろ、神戸市立鷹匠中学合唱部</p> <p>ホール内における展示:国連アジア太平洋経済社会委員会によるインクルーシブ防災に関する取り組み</p>	245
61	神戸	全県	阪神淡路大震災1.17のつどい	阪神淡路大震災1.17のつどい実行委員会	1月17日(月)	東遊園地	<p>阪神淡路大震災1.17のつどいの開催・運営</p> <p>毎年1月17日に神戸市中央区の東遊園地で竹灯笼を並べて「1・17」の文字を描き、参加者に灯りを灯してもらうとともに、5時46分・17時46分に震災犠牲者に対し黙祷する。会場内にボランティアの方たちやご遺族、また震災を経験していない若い人たちが共に集うことによって、震災経験を次世代に伝えていく語り継ぎの場とする。</p>	48,000